



福島南ロータリークラブ

基本方針: 原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878

例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375

HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：斎藤信男 斎藤善重 佐々木孝光 丹治洋子

第18回例会

平成24年11月14日(水) サンパレス福島

■会員/67名 ■出席/39名 ■出席率/58.21% ■メイクアップ/28名 ■修正/67名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 クラブフォーラム
「福島の子供に元気を取り戻そう」
奉仕プロジェクト委員会
吉田 和義 委員長
現状取組報告
- 4 閉会点鐘

会員の広場 《RI 第2530地区大会開催》

RI 第2530地区大会は、11月17日、18日の両日に亘って開催された。田中作次 RI 会長の「奉仕を通じて平和を」、そして伊藤 浩ガバナーの「ロータリー精神を实践しよう」のテーマのもとに厳粛な中にも盛大に執り行われ、12の大会決議が採択された。

今日の一面記事

野田佳彦首相が16日の衆議院解散を決定し、政府・民主党が12月4日告示、16日投開票を決めたことを受け、早期解散への慎重論が大勢だった民主党で離党の動きが相次ぎ、混乱した。 H24. 11. 16 福島民報

◆会長あいさつ◆



紺野 仁昭 会長

去る11月9日から秋季全国火災予防運動が始まり、防火パレードが行われました。当クラブから11名の参加をいただき、笹谷のぞみ保育園の園児と共にパレードをしました。園児達の元気な「火の用心」のかけ声を聞いていますと、この子供達のために、何かしてあげたいという気持ちになりますね。そんなことを考えながら帰ってきました。

今日は、ロータリー最優先プログラム・ポリオ撲滅の推進活動として、エコキャップ回収にご協力いただきましてありがとうございます。エコキャップ運動は、当クラブ国際奉仕委員会の年次活動計画のひとつでもあります。IACも含めまして、国際奉仕・社会奉仕・新世代奉仕の各委員会で対応いたします。

また、今日は、クラブフォーラムです。「福島の子供に元気を取り戻そう」をテーマに、奉仕プロジェクト管理委員会により、進めて頂きます。よろしくお願いいたします。

さて、今日は私の職業柄、庭について少しお話しします。

我々日本人は庭が好きです。時代や地域によって多様な姿を見せてきた日本庭園は、「生きた芸術品」とも云われております。日本列島は四季の変化に恵まれています。温暖な地域が多く、水も豊富、植物も豊かで、庭造りに適した風土だと思います。

庭は、水・石・植栽・景物の4大要素からなっております。水は庭の表情を穏やかにし、見る人の心を和ませてくれます。石は自然石をそのまま使うことが原則でありまして、組み合わせで庭の主題を表現します。ですから、庭造りは石選びから始まります。庭園内の草木を植栽と呼びます。植栽は最も自然の影響を受けやすく、四季によって移り変わります。景物は実用と美しさを調和させ、見る人の目を楽しませてくれます。石造物、飛石・敷石、垣根などがあります。

庭をきれいに保つには日頃の手入れが大事です。どんなにきれいに造ったつもりでも、ちょっと手入れを怠るとすぐに荒れてしまいます。この日々掃除をするということが日本の庭にとって一番大切なことなのです。皆様もたまには、庭の草むしりをしてみてはいかがでしょうか。

◆クラブフォーラム◆

奉仕プロジェクト委員会吉田和義委員長からクラブフォーラムの進め方について説明があり、先ず、現状の取組みについての報告、その後「福島の子供たちに元気を取り戻そう」というタイトルで各テーブルでの話し合いに入った。

【現状の取組報告】

① FUKUSHIMA SUNNYDAY「福島サニーデイ」



菅原節子復興支援副室長から福島の子供たちの元気を取り戻すことを目的に立ち上げられた福島サニーデイについての紹介があった。

この組織は、震災後に普通のお母さんが手作りで立ち上げ、年会費3千円で毎月1回集まって様々な活動をしている団体です。現在、賛同者を募集中。

② NPO法人福島子ども応援団



この組織の立ち上げに関わった菅野良二社会奉仕副委員長が欠席のため、代わりに吉田和義奉仕プロジェクト委員長から報告があった。

この法人は、県外に避難できない子供たちを如何にストレスを与えないで生活していけるかを考え、福島の中小企業経営者数名が立ち上げたもので、今年10月に法人登記を終えたばかりの団体です。様々な企画を考えて、子供たちが福島出身であることを誇れるように心豊かな情操教育やIT教育などの活動をしていく方針だ。

③ 杉妻小学校の子供たちについて



高橋勇雄新世代委員長から杉妻小学校の現状報告があった。

杉妻小学校の状況は、震災後、放射線の影響で子供たちへ多くの不安を与えてしまったということで、在校生677名の内約20名の子供たちが学校を離れている。そして、これまでの屋外活動から室内活動のゲーム機に変化してきている現状に、それではまずいということになり、その対応として健康面では除染を進め運動不足の解消、そして精神面ではゲーム機から、読書へ力を入れている。

現在、図書ボランティアとして、保護者、OBの約20名程で水曜日1~3年生、木曜日4~6年生を対象に各クラスに入って読み聞かせを行っている。

3年計画でやっていたロータリー文庫についても、本の表紙のカバーや、ロータリー文庫の寄贈スタンプを付けている等、丁寧に管理していただいている。

本の種類も10年、20年と長いスパンでの計画が必要なので、より所となるロータリー文庫の継続を是非ともお願いしたいとの陳情めいた話もあった。

④ ロータリー子ども雪遊び広場

吉田和義奉仕プロジェクト委員長から地区社会奉仕委員会で企画されている取組みについて報告があった。

この企画は、地区社会奉仕委員会が企画しているもので、来年2月16日(土)、2月23日(土)、3月2日(土)の3日間に亘り、東北第一分区、東北第二分区、県中分区、中央分区、県南分区の5つの分区で実行することになっている。対象は年中、年長の幼稚園児で猪苗代のファミリースノーパークばんだいでそり遊び、雪遊び及び宝探しなどを行なう。

動員数は、東北第一分区150人、東北第二分区150人、県中分区100人、中央分区150人、県南分区100人を予定しており、柳沼ガバナー補佐が分区実行責任者として動いていることから、当クラブとしても積極的に参加協力をしていきたいとの意向を示された。

【テーブルディスカッション】

各テーブルでの話し合いの内容については、奉仕プロジェクト委員会で取り纏めて後日報告いたします。

今月・来月のプログラム

- 11月21日(水) ゲストスピーチ
地区ロータリー財団委員会
三富 邦基 副委員長
- 11月28日(水) 地区大会報告
- 12月05日(水) ガバナー補佐訪問
12月誕生者お祝い
- 12月12日(水) クラブ年次総会
次年度役員理事発表
第7回理事会(夜間)

一編集後記一

郡山ユラックス熱海を会場としたRI第2530地区大会の2日目(18日)に参加してきました。アトラクションとして披露された子供たちによる岩代國郡山うねめ太鼓の演舞に、何か熱いものを感じました。太鼓の心地よい響きと福島の復興に向けた若い世代の限りない可能性が共鳴した瞬間でした。

